

# PRESS RELEASE

報道機関各位



学園事務局 総務課  
熊本市中央区九品寺2丁目6-78  
TEL 096-364-0116

平成28年11月16日

【 尚綱大学・尚綱大学短期大学部 】

平成28年度「尚綱公開講座」の開催について

このことについて、下記のとおり平成28年度「尚綱公開講座」を開催いたしますので、お知らせします。

記

1. 日 時 平成28年12月10日(土)～平成28年12月11日(日)
2. 場 所 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール  
熊本市中央区九品寺2丁目6番78号
3. 内 容 6講座 詳細は別添リーフレット参照。
4. 受講者 男女、年齢に関係なく、受講可。
5. 受講料 受講する講座数に関係なく、資料代実費として1,000円。  
受講者には当日講義録を配布。
6. 受付期間 平成28年11月30日(水) 締切
7. 申込方法 はがきに①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢と性別、  
⑤電話番号、⑥受講希望講座名、⑦前回受講の有無、⑧懇談会の出・欠  
を書いて申込。当学園webページ又はE-mailでも申込可。
8. 申込先 〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78  
尚綱学園内 尚綱公開講座係  
尚綱学園webページ <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/>

※送付資料 3 枚(本紙を含む)

【本件に関わる問い合わせ先】

担当部署： 尚綱公開講座係

担当者名： 島崎 三和子

電 話： 096-362-2011

e-mail : [kokai@shokei-gakuen.ac.jp](mailto:kokai@shokei-gakuen.ac.jp)

# 28年度尚綱公開講座

尚綱大学・尚綱大学短期大学部の公開講座を開催します。ご来場をお待ちしております。

主催：尚綱大学・尚綱大学短期大学部 後援：熊本県

【開講日時】 平成28年12月10日(土)、12月11日(日)

1講座50分 1日3講座ずつ実施

9:30～10:20 10:30～11:20 11:30～12:20

【開講場所】 九品寺キャンパス大学1号館 10階ホール

熊本市中央区九品寺2丁目6-78

【講座内容】 (演題等は変更の可能性があります)

月日	時間	講座名等	所属 講師名
12月10日 (土)	9:20～ 9:30	開講式	
	9:30～10:20	栄養士の卵たちによる炊き出し16日間の記録 ～わたしたちができること～	尚綱大学短期大学部食物栄養学科 講師 秋吉 澄子
	10:30～11:20	草の根の国際協力体験を通して見えてきたもの ～シリアでの青年海外協力隊活動から～	尚綱大学短期大学部総合生活学科 教授 中嶋 弘二
	11:30～12:20	生きることと心理劇	尚綱大学文化言語学部 教授 小沢 日美子
12月11日 (日)	9:30～10:20	熊本における西洋音楽の受容	尚綱大学短期大学部幼児教育学科 講師 森 みゆき
	10:30～11:20	「もしも」に凌げる食物の力 ～先人の知恵と経験をつなぐ～	尚綱大学生活科学部 准教授 川野 美智代
	11:30～12:20	浦島説話の変遷 ～太郎はどこに行ったか～	尚綱大学・尚綱大学短期大学部 学長 森 正人
	12:20～12:30	閉講式 修了証書授与	
	12:30～13:30	受講者と講師の懇談会	

※ 12月11日(日)閉講式後に「受講者と講師の懇談会(茶話会)」を開催します

〈受講者〉 男女、年齢に関係なく、受講できます。

〈受講料〉 受講する講座数に関係なく、資料代実費として1,000円をご負担いただきます。

〈受講申込〉 受付期間11月30日(水)まで

はがきに①郵便番号、②住所、③氏名(フリガナ)、④年齢と性別、⑤電話番号、⑥受講希望講座名、⑦前回受講の有無、⑧懇談会の出・欠を書いてお申し込みください。

当学園webページ、E-mailでもお申し込みいただけます。

個人に関する情報は、公開講座に関してのみ使用させていただきますことを申し添えます。

- 1) 受講される方には受講証をお送りし、当日講義資料をお渡しします。
- 2) 全講座を受講された方には「修了証書」を授与します。
- 3) 本年度中(平成29年3月まで)尚綱大学図書館(本館)をご利用いただけます。

申込先、お問い合わせ先

〒862-8678

熊本市中央区九品寺2丁目6-78

尚綱学園内 尚綱公開講座係

096-362-2011

【尚綱学園webページ】

<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/>

【E-mail アドレス】

[kokai@shokei-gakuen.ac.jp](mailto:kokai@shokei-gakuen.ac.jp)

## 「尚綱公開講座」各講義の概要

講 師 名	講 義 概 要
秋吉 澄子	平成28年熊本地震において、短期大学部食物栄養学科の学生が認定NPO法人キャンパーの益城町での炊き出し活動を支援しました。その活動内容と、栄養士を目指す学生が初めて炊き出しを行った16日間の奮闘と成長の記録をお伝えします。また、炊き出しの際に役に立ったレシピ集や、炊き出しの裏側をご紹介します。
中嶋 弘二	「自分の持っている技術・知識や経験をアジア・アフリカ・中南米・南太平洋などの開発途上国の人々のために生かしたい」という意欲を持っている若者の希望を達成する道を開いているのが青年海外協力隊です。バレーボールコーチとして、中近東シリアで、現地の人と共に生活し、共に汗を流しながら国づくり、人づくりのために協力活動した2年3カ月の体験から見えてきたもの、感じたことをお話します。
小沢 日美子	社会の急速な変化とともに私たちを取り巻く環境も変化し、日々の暮らしも変わり、そこかしこで出会う様々な人々との出会い方も大きく変わって来ています。しかし、どの時代であっても、他に替えることができない、かけがえのない自らを生きることを大切にしたいと思います。本講座では、人が生きること、そこでの出会いについて、心理劇の理論と方法を用いて見つめ考えて行きたいと思います。そして、自らを生かすことを、自発性と創造性の視点から探求したいと思います。
森 みゆき	明治時代になり、政治や文化、学校制度等様々な分野で日本は西洋諸国の影響を受けました。音楽も同様でした。日本の西洋音楽は、軍楽隊、キリスト教、学校教育という3つの入口から入ってきましたが、当時の熊本はどのような状況だったのでしょうか。今でも学校や教会に現存しているピアノやオルガンを紹介しながら、西洋音楽受容の様子を紐解いていきたいと思います。熊本英学校、五高（夏目漱石・寺田寅彦・小泉八雲他）、師範学校、尚綱女学校、リデル・ライト、長崎書店等、身近な所がキーワードになります。
川野 美智代	人は食事を摂ることによって生きながらえることができます。人生80年とすれば、9万回食事を摂ることになります。これまで私たちは、何回食べ終えたのでしょうか。今年4月の熊本地震を受け、改めて誰もが、「食」の大切さや一食一食の質が身体の質を左右することを実感したことでしょう。「もしも」に凌げる、日本の食文化の中にある賢い先人の知恵と技を振り返り、次世代に繋ぐ食育を念頭にお話しします。
森 正人	浦島説話は日本人の誰もが知っています。およそ1300年前の昔からほとんど説話の構造は変化していないけれども、浦島の訪問する世界は、時代とテキストによって蓬莱山、海神（わたつみ）の国、龍宮と相違しています。この変化流動の背景を探ることによって、日本人の異境に対する観念の変化をたどり、日本文化の重層性を明らかにします。